

## 岩見沢聖十字幼稚園 関係者 評価表

評価年月日 令和5年2月26日

評価者氏名 瀧澤聡

### 園長の自己評価について

評価数は、Aがほとんどであり、Bがわずか、Cがないという判断ですので、特に意見はないです。「保育内容」「地域の幼児教育センターとしての役割」「安全管理」「人事管理」「財務管理」「評価と情報の公開」の各項目において、引き続きコロナ禍の状況下でありながら、それぞれの項目で改善の実施や今後の課題解決の見通しをされていました。特に、公開保育や道外の他地域との交流などの積極的な発信は、他の園等のモデルとなる姿勢であり、来年度も維持して行ってほしいです。また、ICTを保育現場にどのように活用していくかについて、さまざまな文科省などからの提案がされていますが、そのことも意識しながら園の運営に採用しようとしていることは、保育者等の業務改善に直結しますので、具現化をさらにすすめていただければと思います。

### 教職員の自己評価について

毎年そうですが、各項目で「あまりできていない、検討を要する」の数はほとんどないか、あるいは少ないというのが、貴園の傾向にあるとおもいます。また「おおむね良い」「ふつう」という傾向も変化がありませんでした。ただ、自由記述の数が例年より多くあったように思います。それらを細かく分析してみると、「保育観」の違いや、職員間の関係性、声をあげにくい環境、仕事量の多さなどが、散見されました。これらの記述が表面化されたのは、今後の職員の保育・労働環境に関して改善できる余地があることを示していると思われしますので、どのような改善をしていったらよいかなどの対応を丁寧に検討してほしいと思いました。小さな要因が、積もり積もって大きな原因となり、改善できる余地がなくなってからでは、園のすべての機能に影響を与えてしまいます。だれもが納得できて満足できる労働環境というのは存在しないと思いますが、それを常に意識して羅針盤としながら努力していく必要性はあると思います。

### 保護者のアンケート結果について

今年もたくさんの保護者の方々によるアンケート調査に対するコメントがありました。今年もコロナ禍での保育でしたので、その状況下でも園の創意工夫ある保育の実践が、高く評価されていました。一方で、園への改善を求めるコメントが例年より多くあったように思いました。WEBでのアンケート収集の方法の切り替えの成果と思いました。時代にあわせて方法を変更していくことで、より保護者の方々の声を引き出したのだと思いました。今後もこのような姿勢で取り組まれたら、よりよいものを反映できると思いました。

### 自己評価について、上記以外のご意見、ご感想

支援の対象となるお子さんについて、その対応をどうしたらよいかと困り感をもっている保育者がいることが気になりました。特別支援教育を専門としている者だから、当然そのような声に反応してしまいます。そのような保育者が自信をもって支援・指導できるように応援してほしいです。